

小学2年 国語科

場面の様子や登場人物の気持ちを読み取り音読しよう 「かさこじぞう」（東京書籍 2年）

学校教育目標

「人、夢、ふるさと」
つながる力の育成

授業の流れ

授業のポイント

中心人物や場面の様子が分かるところ（行動や会話文など）に着目して読み、既習事項を使って工夫して音読をすることを通して、想像を広げて読む力を育成する。



導入

前の場面を振り返り、めあてを確認する。様子が分かるところはどんなところか思い出す（行動・会話など）。



展開

- ① 一人学びで、じいさまの様子がわかるところに線を引く。
- ② 線を引いたところをどのように音読で工夫するか考える（声の大小・高低・速さ・間）。
- ③ 音読をどのように工夫したか、根拠や理由を明らかにして説明し合う。
- ④ 音読の変化を確かめる。



終末

振り返りの視点（①何がわかったか②友達の見解でよかったこと③様子を表す言葉）について振り返る。



この授業では、学校教育目標の1つ「『人』とつながる」に関わる「学び合う力」を育成することを目指している。「みなみ学習」に位置付けた「伝え合う活動」では、少人数のグループを形成することで、全員が自分の考えを表現できるように配慮する。そして、叙述に着目しながら、互いが考えを比べたり、共感したり疑問を出し合ったりすることで、学びを深めていく。また、振り返りの場面で、視点を明確にすることで、学んだことを実感させ、次の学習への意欲向上につなげる。

指導項目

- C 読むこと O精査・解釈（文学的な文章）
エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。

評価について

音読の変化を児童同士で評価し合ったこと、ワークシートの記述をもとに児童が行ったやりとり、ワークシートの記述や児童がどこに着目し想像を広げたかについて見取り、評価する。

目指す児童の姿

- O友達の見解を聞き、自分の考えと比べて共感したり、疑問を出し合ったりすることで、『読み』を深め、音読に生かしている。